

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称 松川町国民健康保険運営協議会

2 開催日時 令和6年2月14日(水) 午後6時30分 から 午後7時45分まで

3 開催場所 松川町役場2階 協議会室

4 出席者氏名

【委員】10名

被保険者代表: 西尾幸久会長 佐藤八重副会長 下澤淳子委員

公益代表: 松井悦子委員 坂本勇治委員 間瀬重男委員 米山義盛委員

保険医代表: 宮澤 豊委員 横田陽一委員 米山繁樹委員

【役場】8名

塩倉保健福祉課長 伊藤住民税務課長 米山徴収係長 鈴木主任

三宅保健予防係長 北沢保健予防担当係長 土岐保健師 萩原主事

5 議題

(1) 国民健康保険事業の状況について

(2) 国民健康保険特別会計 決算見込み及び当初予算(案)について

(3) 第3期データヘルス計画について

6 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7 傍聴人の数 0名

8 会議資料の名称 松川町国民健康保険運営協議会 次第  
第3期データヘルス計画(案)

## 9 審議の概要

### (1) 開会

### (2) 会長あいさつ（西尾幸久会長）

### (3) 会議録署名委員の選任について（米山義盛委員・宮澤豊委員）

### (4) 協議事項（進行：西尾幸久会長）

#### ① 国民健康保険事業の状況について

#### ② 国民健康保険特別会計 決算見込み及び当初予算(案)について

#### ③ 第3期データヘルス計画について

質疑・応答 協議事項①②を一括して行う。③は、単独で行う。

#### ① 国民健康保険事業の状況について

#### ② 国民健康保険特別会計 決算見込み及び当初予算(案)について

(委員)保険給付費の決算見込みと来年度の予算がほぼ同額となっている。医療費が増えるなどの増額の見込みは立てていないということか。

(町) 今年度は当初予算より約 7000 万円増の決算を見込んでいる。来年度の当初予算には、現在までの医療費を見込んだ今年度の決算額と同等の額を計上しました。

(委員)透析の方やコロナにかかった人は何人いるのか。

(町) コロナは件数の報告がないのでわからない。透析は3名増加。微増傾向。

(委員)透析は全体で何人いるのか。

(町) 後期高齢も合わせて29名。国保は5名。透析を防ぐというのは難しいが、75歳以上になっても保健指導ができるように考えていきたい。

(委員)産前産後の軽減について、国の補填はあるのか。

(町) 3分の2がもらえる。現時点で2名の方が申請済み。

(委員)町の負担も発生するという事か。

(町) 町の負担もある。低所得者軽減世帯(7・5・2 割軽減)の場合は減免額自体が少ないため、国保会計から見た税収はたいして影響しないのではないかと。

(委員)被保険者は減少だが、1人当たり医療費は上昇。加入者が、年々減少しているのか。

(町) 被保険者数の減少については、人口の減少が一番の理由と考えている。

(委員)30万円以上レセプト、呼吸器系と新生物が多いが、改善に向けて町の対策は。

(町) 高齢者の方の医療費が低い傾向にある。呼吸器系も多いが循環器系が前年より1500万増加。高血圧が起因の脳卒中・脳梗塞が課題。高血圧の保健指導だけではなく、自治会に出向いての血圧測定や高血圧の会など、高血圧を解決する集団や地域での対策が必要になる。個別指導だけではなく、集団学習も復活させたい。

(委員)コロナ過から情勢が変わってきた。地域に出向いての保健指導活動をお願いしたい。

(委員)脳梗塞は増加しているが、脳卒中が減少しているのはなにか特徴があるのか。

(町) 現代は若いうちから脂質異常や高コレステロール血症・肥満の方が増えている。若い方の動脈硬化がすすんでいるのではないかと考える。

③第3期データヘルス計画について

- (委員) ストレス社会の現代、心の病が元で病気に進行していくこともあると思う。そこに関してのケアが松川町に暮らしていて受けられるところがないのではないかな。
- 社会保険の方はメンタルケアを推奨している企業もあるが、国保被保険者はメンタルケアやカウンセリングを受ける機会が少なく、精神的なものから病気になる方が多いのではないかな。もう少しケアする場があればと思うがどうか。
- (町) 先日、健康を考える集会で心の健康をテーマに行ったが、相談先がわからない方や、何となく不安を感じている方が昔よりも増えている。しかし、医師不足もあり、精神科も満杯状態で、初診でかかると3ヶ月待ちという現状。心の相談を毎週水曜日に行っていたが、来年度から少し日数を増やす予定でいる。委託業者と相談して、なるべく身近で相談を受けられるような体制を整えていきたいと考えている。
- (委員) 町内にも相談できる場ができるよう、ぜひ検討していただきたい。
- (委員) データヘルス計画の介護の人数は国保の方の人数なのか。
- (町) 全体の人数です。
- (委員) 高血圧が最大の原因ということで、自治会に出向いて血圧測定をするとのことだが、個人で血圧計を持ってもらうために、補助金を出すのはどうか。
- 高血圧が原因で医療費が上がっている。補助するのに100万200万かかると思うが、高血圧が少なくなり、県平均まで落ちれば、医療費で見るとかなりの金額が減ると思われるため、検討してもいいのでは。本人の意識改革にもなるのではないかな。
- (町) 現在も血圧計の貸し出しはしている。ご意見をいただいたので、検討していきたい。
- (委員) データヘルス計画について、パブリックコメントで何も要望がなかったということだが、健康について関心を持ってもらうことへの意識が欠けているような気がする。どのくらいの人がパブリックコメントを見てくれたか、何か調べ方があるか。国保にこんなにお金がかかっている現状や、危機感を持たせて見てもらう方法はなかったのか。
- (町) 感想をいただくものではなく、意見をいただくものと考えている。パブリックコメントは、町で決まっている方法により行っているため、町のパブリックコメントの方法を変更したほうがいならまちづくり政策課とともに検討してくべきと思う。
- (町) 健康については、広報まつかわで保健師が「がんや健康」についての記事を掲載している。高血圧や糖尿病など直接声がけが必要な方には、保健師から連絡するようにしている。今後については自治会に出向く回数も増やしていきたいと考えている。
- (委員) 広報の仕方も時代で変化してきている。今までどおりでは伝わらない。町全体の広報の仕方を変えていく必要がある。今後は様々な面から考えてほしい。
- (町) 今年度からLINE公式アカウントを活用しているが、登録者数が1,000人程しかいないため、町政への関心としてスマホを持っている方の半分以上が登録してもらえような広報を、まちづくり政策課を通してやっていきたいと思う。
- (町) 昨年度の健康を考える集会はYouTubeのみの開催で行った。今まで反応がなかった世代の方にも見ていただけていたので、今後も参加者の皆さんの許可が得られれば、メディアを活用した保健事業を行っていきたい。